北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。
本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 （整理番号）	若年乳癌患者の臨床病理学的特徴、治療および予後に関する後方視的検討 （B26-131）
当院の研究責任者 （所属・職位）	医学部　乳腺・甲状腺外科学　教授　三階　貴史
他の研究機関 および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	乳がんは 40 歳未満の若い世代にも発症することがあります。現在、日本の自治体などが行う乳がん検診は主に 40 歳以上の女性を対象としているため、若い世代では乳房のしこりなどの症状をきっかけに乳がんが見つかることが多く、診断された時点で病気が進んでいる場合もあります。また、若い世代の乳がんには、がんの性質や治療方法、治療後の経過などに、年齢の高い世代とは異なる特徴があることが報告されています。 さらに、若い世代では乳がんの治療と妊娠・出産などのライフイベントが重なることがあり、将来の妊娠の可能性を残すための対応や、遺伝に関する検査・相談など、年齢に応じた支援も重要となります。 そこで本研究では、北里大学病院において 39 歳以下で乳がんと診断または治療を受けた患者さんについて、これまでの診療で得られた情報を用いて、乳がんが見つかったきっかけ、診断時の病気の状態やがんの性質、受けた治療、その後の経過などを調べます。 これらを明らかにすることで、若い世代の乳がんの特徴をよりよく理解し、今後の早期発見や、患者さん一人ひとりに適した治療・支援につなげるための基礎的な情報を得ることを目的としています。
調査データ 該当期間	2016 年 1 月 1 日から 2026 年 9 月 30 日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	上記期間内に北里大学病院乳腺・甲状腺外科において診断または治療を行った、乳癌診断時年齢 39 歳以下の患者さん
研究の方法 （使用する試料等）	利用する情報 2016 年 1 月 1 日から 2026 年 9 月 30 日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始する予定日	利用又は提供開始予定日：　研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

本研究の資金源 （利益相反）	本研究の遂行のための費用は、乳腺・甲状腺外科学一般研究費を使用します。 研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： **所属・職位**：乳腺・甲状腺外科　主任教授 **担　当　者**：**（フリガナ）**三階　貴史（サンガイ　タカフミ） **電　　話**：042-778-8111
備　考	